

都島区

ごみゼロ



リターナー

ニュース

第2号

平成27年5月発行

大阪市では、皆さんにご協力いただき、資源ごみ、容器包装プラスチック、古紙・衣類の分別収集を行うほか、地域で自主的に行われている資源集団回収活動への支援を行うなど、様々なごみの減量・リサイクル施策を進めてきました。

さらに、分別ルールの徹底を図る取組を開始した結果、平成25年度のごみ処理量（焼却量）は102万トンとなりました。平成27年度のごみ処理量を「100万トン以下」とする計画目標の達成も目前となっています。

また、ごみ処理量がピークであった平成3年度の217万トンと比較すると、▲115万トン（▲57%）もの減で、半分以下の量となっています。

こうしたごみ減量の進捗に伴って、これまでに4工場を廃止し、平成26年4月からは7工場体制でごみの焼却処理を行っています。今後さらに稼働する工場を減らすため、平成37年度を目途とした将来的なごみ処理目標量として「90万トン」をめざすこととしており、引き続き、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



平成27年度都島区廃棄物減量等推進員の活動について

- 1) 11月15日（日）予定 都島区RRRフェスティバル
- 2) 10月10日（土）予定 大阪城「ごみ減量フェスティバル」
- 3) 10月17日（土）～10月23日（金）予定
大阪マラソークリーンアップ作戦
- 4) 1月～2月 リサイクル施設見学会
- 5) 12月～2月 ごみ減量・リサイクルに関するイベント

ごみ減量イベント

風呂敷の包み方講習会を開催しました。

平成27年3月17日（火）都島区民センターにおいて、なにわエコ会議の長谷川先生を講師にお迎えして、ごみ減量イベント「風呂敷の包み方講習会」を開催しました。

都島区のごみゼロリーダーと都島区民の皆さん合わせて20名の皆さんが参加され、楽しく・にぎやかに開催されました。

このイベントは、ごみ減量の必要性が叫ばれるなか、大げさになりがちな理念ではなく身近なところ、生活に近いところから取り組むことができる「ごみ減量」の視点から、「風呂敷」の様々な活用方法をご紹介します。レジ袋等の使用頻度を減らし、おしゃれ感覚で楽しみながらごみ減量につなげていくことを目的とし、四角い箱から買い物袋、祝儀袋、ペットボトル入れさらにはリュックサックまで、様々な包み方をご紹介します。

これからもごみゼロリーダーの皆さんを中心に地域のみなさまと協力しながらより一層のごみ減量に取り組んでいきたいと考えています。



《編集・発行》

大阪市環境局 北部環境事業センター

大阪市北区同心2-8-14

TEL:06-6351-4000 FAX:06-6351-4049

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

